

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	1 - 1
------------	-----------	------------	-------

基 本 事 項	施策名	第1節 コミュニティ活動の推進	所管部署名	市民生活部
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）	評価責任者	中山 浩
	施策小項目	1 自治会活動の支援	施策小項目	
	施策小項目	2 コミュニティ活動の支援	施策小項目	
	施策小項目		施策小項目	
	施策の目的	・すべての人と人とが結びつき、相互に理解し深く関わりあう地域社会の実現をめざす。	役割 分担	市民の役割 ・自治会活動への理解や加入の必要性の認識を高め、地域活動への参加に努める。 ・自治会、ボランティア団体、NPOなどの市民活動団体は、団体間の交流に努めるとともに、地域住民の理解を深めるために自らの活動内容の情報発信に努める。 行政の役割 ・自治会加入促進を強化するとともに、自治会活動を支援する。 ・コミュニティ活動活性化のための情報を提供するとともに、各団体間のネットワークづくりを支援する。
	施策に関する個別計画			

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
	指標の性質（下段）							
①	地域コミュニティ活動への参加率		%	52.4	40.0	57.0	D	60.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R1	R1		R3
②	市民活動サポートセンターの登録者（団体・個人）		団体個人	120	147	140	A	150
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3
③	自治会加入率		%	73.57	69.48	80.00	D	80.00
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3

施策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 6点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
評価軸② 施策の 進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価 の 理 由 ・ 説 明	事務事業は計画どおり実施できているが、地域コミュニティ活動に関する理解を深めるため、継続して効果的な啓発を実施していく必要がある。	3点
評価軸③ 市民ニーズ の反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っている。	4点
評価軸④ 施策に対する 事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
	施策に関する現状と課題			総合評価
	・「地域コミュニティ活動への参加率」については、目標値に達していない状況であるが、参加したことがない最も多い理由は「仕事や家事などが忙しくて参加する時間がないから/58.8%」となっている。また、「自治会加入率」についても、目標値に達していない状況であり、地域コミュニティ活動そのものやその必要性について市民に浸透していないことが推察できる。 ・当施策を構成している各事務事業はほぼ計画どおり実施しており、課題として「地域コミュニティの活動や必要性」についての効果的な啓発やアプローチがあげられる。		4 成果指標達成度 3 2 1 0 市民ニーズ反映度	3点
			施策評価 レーダーチャート	評価軸 ①~④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構 成	1	501101	自治会活動支援事業	1	自治会加入率	%	80.00	69.48	手段を改善
	2	501103	コミュニティ施設等整備事業	2	自治会加入率	%	80.00	69.48	現状のまま継続
	3	501102	認可地縁団体支援事業	1	認可地縁団体の数	数	42.00	42.00	現状のまま継続
	4	501104	市民まつり事業	1	来場者の満足度	%	90.00	99.09	現状のまま継続
成 す る 事 務 事 業									

特記事項

①自治会活動を支援する以下の取組を実施した。
 ・自治会に対し、自治会活動補助金及び地域振興交付金を交付するほか、活動拠点の支援として集会施設の建設・補修工事への助成、その他、説明会及び個別相談を行った。
 ・自治会加入率向上のため、転入・転居者への情報提供サービスや不動産事業者、自治連合会との「自治会加入等促進に関する協定」に基づく自治会加入案内を行った。

②コミュニティ活動・交流の場を提供した。
 ・さまざまな分野の市民団体等で構成する「市民まつり運営委員会」及び「コミュニティ協議会」とともに、コミュニティ活動・交流の場を提供した。

今後の展開

これまでの市民参画推進や市民活動団体支援に係る取組を引き続き行うとともに、「市民シンクタンク」や「みらいステップアップ助成金」、「NPO法人認証等事務」など新たな取り組みが軌道に乗るよう丁寧に進行管理していく。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 1 - 2	
基 本 事 項	施策名	第2節 女と男が互いに認め合う社会づくり	所管部署名	市民生活部
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）	評価責任者	中山 浩
	施策小項目	1 男女共同参画の意識づくり	施策小項目	5 配偶者等に対するあらゆる暴力のない社会づくり
	施策小項目	2 男女共同参画の環境づくり	施策小項目	
	施策小項目	3 男女共同参画推進の体制づくり	施策小項目	
	施策小項目	4 男女がともに働きやすい環境づくり	施策小項目	
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての男女が自分らしく生きることができる社会をめざす。 ・男女がともに働きやすい社会をめざす。 ・配偶者等に対するあらゆる暴力のない社会をめざす。 		役割 分担
	施策に関する個別計画	第3次吉川市男女共同参画基本計画（平成24年度～令和3年度）		
				市民の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・性別にとらわれることなく、男女が家庭や職場、地域社会の活動などに対等に参画することに努める。 ・配偶者等に対するあらゆる暴力を容認しない社会風土を醸成することに努める。
				行政の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の意識向上を図るための情報提供、啓発事業を実施する。 ・DV被害者の相談・支援体制の充実を図る。

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値 （年度）	目標値 （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）							
①	男女が平等であると感じる市民の割合		%	62.4	64.9	67.0	C	70.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R1	R1		R3
②	市の審議会等委員の総数に対する女性委員の割合		%	26.6	23.8	35.5	D	40.0
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3
③	DV防止地域サポーターの人数		人	46	89	82	A	100
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 7点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
評価軸② 施策の 進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	事務事業は計画どおり実施できているが、男女平等意識を見ると目標を達成するのは難しい状況である。	3点
評価軸③ 市民ニーズ の反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っている。	4点
評価軸④ 施策に対する 事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容である。「女（ひと）と男（ひと）が互いに認め合う社会づくり」を推進するため、継続的に取り組んでいく必要がある。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
評価軸	施策に関する現状と課題			4点
	当施策を構成している各事務事業はほぼ計画どおり実施しているが、目標の達成ができていない状況である。 ・「審議会等委員の女性割合」については、「庁内における周知と理解の不足」が課題となっている。 H30年度から審議会等委員の選任を年度中に行う所管課を対象に、審議会等委員の選出母体や公募委員の状況を聞くヒアリングを実施している。 ・「DV防止地域サポーター数」については、養成講座受講者のうち登録を希望しない方も多く、サポーターの役割や主旨を理解していただけるよう展開する必要がある。			総合評価 4点
			施策評価 レーダーチャート	評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値	
構	1	男女共同参画推進事業	1 男女共同参画計画全体の重点事業の年度目標実行率	%	100	100	現状のまま継続
	2	女性総合相談事業	1 相談率	%	50.0	48.6	現状のまま継続
	3	配偶者からの暴力防止及び被害者保護事業	1 DV防止地域サポーター登録者数	人	80.0	89.0	現状のまま継続
成 す る							
事 務 事 業							

特記事項

- ・テーマによる啓発事業
- 令和元年度 テーマ「国際的な視点で考える男女共同参画」
- ①男女共同参画パネル展示「国際的に男女共同参画を考える」
- ②「男女活躍・国際交流ワールドカフェ」104名参加
- ③男女共同参画啓発紙の発行

今後の展開

- ・男女共同参画は全ての人、生活全般に関わっており、全庁各課に通じるものである。そのため、今後とも各課の事業について、男女共同参画基本計画の進捗管理を行うとともに、当課においては、年度ごとにテーマを設定し、テーマに沿った内容で事業を展開していきたい。
- ・「審議会等委員の女性割合」については、選任を年度中に行う所管課を対象にしたヒアリングを継続し、効果につなげていきたい。
- ・DV防止の啓発や配偶者暴力相談支援センターの周知を担う「DV防止地域サポーター」の増員を図るとともに、研修参加やケース会議等によりDV相談体制の充実に努めたい。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日		令和2年9月30日		No. 1 - 3	
基	施策名	第3節 平和で思いやりのある地域社会づくり		所管部署名	総務部
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）		評価責任者	浅水 明彦
	施策小項目	1 平和意識の高揚	施策小項目	関連部署名(1)	総務部庶務課
	施策小項目	2 人権教育・同和教育の推進	施策小項目	関連部署名(2)	こども福祉部地域福祉課
	施策小項目	3 人権啓発活動の推進	施策小項目	関連部署名(3)	市民生活部市民参加推進課
本	施策小項目	4 市民相談の充実	施策小項目	関連部署名(4)	教育部生涯学習課
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の悲惨さが理解され、争いのない平和な社会をめざす。 ・優しさと思いやりにあふれ、お互いの人権を尊重し合えるまちをめざす。 		市民の役割	平和や人権に関するイベントや研修会等への参加に努める。
施策に関する個別計画			行政の役割		広報やリ-フレットを通しての啓発や講演会・研修会等を開催し、平和・人権意識の高揚を図れるように努める。

区分	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
指	① 差別や人権侵害のない社会であると感じる人の割合	%	75.8	79.8	78.3	A	80.0
	増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3
標							

施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点	
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数		4点
策の	評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 (最終年度には100%以上の達成度の見込み) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (最終年度には80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (最終年度には50~80%程度達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (最終年度には50%未満の達成度)	評価の理由・説明	人権啓発活動により「差別や人権侵害のない社会であると感じる人の割合」は目標を達成している。最終年度には最終目標値に達することが可能と判断した。	4点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		市民意識調査で継続的に把握している。人権が守られていない理由は様々であり、内容を絞った事業展開がしにくい状況であった。	3点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		平和や人権に関する事務事業で構成されており妥当である。施策の目的を達成するために十分な事務事業となっている。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
	施策に関する現状と課題			<p>・同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に対して正しい理解と認識が深まってきており、差別を許さないという意識が醸成されてきているが、社会全般を見ると、インターネット上の悪質・差別的な書き込みなどや子どもや高齢者などへの虐待が発生しており、引き続き啓発や教育が必要である。</p> <p>・平和意識の高揚については、戦争を体験し、継承する人が減少している中、様々な世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐことが必要となっている。</p> <p>・市民が抱える様々な悩みや心配事、苦情などを気軽に相談できるように、解決の糸口を見つけ出せるようにすることは今後も必要である。</p>	
評価				評価軸①~④の評価点の平均点	4点

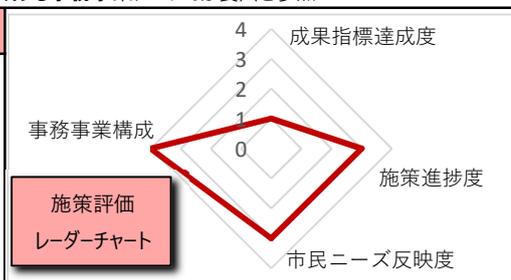
令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	1 - 4
------------	-----------	------------	-------

基 本 事 項	施策名	第4節 国際性豊かなまちづくり	所管部署名	市民生活部
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）	評価責任者	中山 浩
	施策小項目	1 多文化共生の推進	施策小項目	
	施策小項目	2 国際交流の充実	施策小項目	
	施策小項目		施策小項目	
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人を含むすべての市民が暮らしやすい「多文化共生社会」をめざす。 ・外国の地域と交流することで国際的な理解が深まることをめざす。 	役割 分担	市民の役割 外国人も同じ地域の住民として互いに認め合い、共に地域を支え合う多文化共生意識を持ち行動することに努める。 行政の役割 市内在住外国人の支援及び多文化共生意識の向上を図る。
	施策に関する個別計画			

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値 （年度）	目標値 （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）						
指 標	① 多文化共生社会となっていると感じる市民の割合	%	59.7	61.5	65.9	D	70.0
	増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3

施策の 評価	評価軸①	評価方法		評価点
		指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価の理由・説明 事務事業は計画どおり実行できており、昨年度は目標を達成しており、目標を達成することが見込まれる。 市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っている。 事務事業の構成としては、施策の目標を達成するのに十分な内容である。引き続き、市民と協働して事業に取り組んでいく必要がある。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
	施策に関する現状と課題			
価	・「多文化共生に対する市民満足度」については、「外国人や外国文化と触れ合える機会が十分でないと感じるから」という理由等から今年度は目標値に届かなかった。 ・これまで、市民シンクタンクからの提言による「吉川市ベトナムday」の開催や外国出身者等の講師を派遣する「多文化共生講師派遣事業」などの取り組みにより指標は改善傾向にあることから、今後も地域に多文化共生意識が広がるよう取り組んでいく必要がある。			総合評価 3点 評価軸①~④の評価点の平均点



貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構	1	501204	多文化共生推進事業	1	翻訳・通訳実施件数	件	15	25	手段を改善
	2	501206	国際交流団体支援事業	1	団体実施事業の延べ参加者数	人	2,800	2,840	現状のまま継続
	3	501205	国際姉妹都市交流事業	1	青少年親善訪問団派遣事業参加者数	人	20	20	現状のまま継続
成 す る 事 務 事 業									

特 記 事 項	・多文化共生講師派遣事業	・翻訳・通訳ボランティア制度 / 登録者61人17か国語
	①ネオポリス自治会「パキスタン料理会」	・日本語教室ボランティアスタッフ養成講座 / 12人参加
	②下内川パイア料理ベトナム交流	
	③旭小学校区体育祭でのベトナム交流（台風のため準備のみ、当日は中止）	
	④木売町会「もちつき大会」 ⑤吉川団地「もちつき大会」	
	⑥育まち自治会「自治会のルールの中国語翻訳」	

今 後 の 展 開	<p>将来的には、地域の中で自然と多文化共生の交流や取組がなされることが理想である。</p> <p>こうした理想を目指し「多文化共生講師派遣事業」、「翻訳・通訳ボランティア制度」及び「日本語教室ボランティアスタッフ養成講座」など様々な事業や取組を講じていく。</p>
-----------------------	---

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 1 - 5		
基 本 事 項	施策名	第5節 都市間交流における人づくり	所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）	評価責任者	中山 浩	
	施策小項目	1 国内交流の充実	関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課	
	施策小項目		関連部署名(2)		
	施策小項目		関連部署名(3)		
			関連部署名(4)		
	施策の目的	・異なる都市、地域の文化等に触れることで、郷土への愛着を高めるとともに、人と人との交流が深まることをめざす。	役割 分担	市民 の 役 割	国内交流事業への参加を通じて、他地域の文化に触れ、交流を深めることに努める。
	施策に関する個別計画				・友好提携市との交流に関する情報提供や交流事業への参加の拡大を図る。 ・交流活動団体の活動を支援する。

区分	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
指 標	① 市及び交流活動団体における都市間交流事業に参加した市民の数	人/年	171 H25～H27の平均	222 R1	200 R1	A	200 R3
	増加することが良いとされる指標						

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点	
評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	事務事業は計画どおり実施できており、目標を達成している。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っている。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		事務事業の構成としては、施策の目標を達成するのに十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題				
当施策は、主に国内交流団体支援事業の実施により、目標値を達成している。 ・吉川・室根友好協会の活動支援を行うことにより、友好提携都市である岩手県一関市と、市民を主体とした相互交流事業をはじめ、さまざまな交流を継続的に実施している。 ・事業運営の負担軽減や、新たな協力者の育成が課題となっている。				4点
		施策評価 レーダーチャート		評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

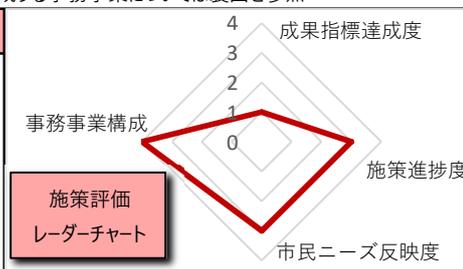
評価日 令和2年9月30日

No. 1 - 6

基	施策名	第6節 市民参加のまちづくり		所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）		評価責任者	中山 浩	
	施策小項目	1 市民参画の推進	施策小項目	関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課	
	施策小項目	2 市民と行政による協働の推進	施策小項目	関連部署名(2)		
	施策小項目	3 市民活動の支援	施策小項目	関連部署名(3)		
本	施策小項目			関連部署名(4)		
	施策の目的	・市民が自らの意思に基づいてまちづくりに参加できる環境と機会の充実をめざす。 ・市民と行政がそれぞれの資源や知恵を持ち寄り、一緒にまちづくりを進めていくことをめざす。 ・市民活動が活性化することをめざす。			市民の役割	まちづくりの主体として、自らの言動に責任を持ち、行政と共にまちづくりを進めることに努める。
施策に関する個別計画	市民と行政との協働に関する基本指針（平成21年度～）			行政の役割		・効果的な市民参画の実践と職員の意識向上を図る。 ・市民活動拠点の機能の充実を図る。

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
	指標の性質（下段）							
指	①	協働事案件数	件	32	28	40	D	44
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
標								

施策の評価	評価方法		評価点
	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価の理由・説明 事務事業は計画どおり実行できているが、協働に関する周知を継続的に行っていくことで、目標の達成につながるものと考えられる。 市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っている。 事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
施策に関する現状と課題 ・協働事案件数については、目標値には達していない状況である。市民と行政との協働によるまちづくりは、市政運営における市民参画の推進につながるものであるため、市民と市職員に対し、情報提供と意識高揚を図ることが必要である。 ・「市民参加のまちづくり」を進めるうえで大切なのは、より多くの市民参画手続きを実施し、より多くの参加・意見をいただくことである。様々な市民参画手続きを実施する中でテーマにより参加・意見にバラつきが生じることはやむを得ないことであるが、市民参画の場を提供することに意義がある。			総合評価 3点 評価軸①~④の評価点の平均点



貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構 成	1	501105	市民参画推進事業	1	市民参画手続の実施回数	件	20	44	現状のまま継続
	2	501107	協働推進事業	2	協働事業提案制度の提案	件	1	0	現状のまま継続
	3	501109	市民活動団体支援事業	1	助成団体数	団体	5	6	現状のまま継続
	4	501108	市民活動推進事業	1	市民活動補償制度登録団体・個人数	団体・個人	360	359	現状のまま継続
成 す る 事 務 事 業									

特記事項

①市民参画推進として「市民参画審議会の開催」「市民参画手続の実施状況の把握と啓発」のほか、市民の専門的知識や経験を市政に活かすため「市民シンクタンク事業」を実施した。
 ・市民シンクタンク 研究員数：47名 提言：採択2件、一部採択1件

②市民活動団体支援として、「NPO法人認証等事務」「市民活動補償制度」「市民活動サポートセンターへの協力・助言」を行うほか、公益公共的な市民活動団体を支援・育成する「みらいステップアップ助成金事業」を実施した。
 ・みらいステップアップ助成金 スタート助成1団体、ステップ助成3団体

③市民参画審議会在が協働事業の第三者評価を実施した。

今後の展開

これまでの市民参画推進や市民活動団体支援に係る取組を引き続き行うとともに、「市民シンクタンク」や「みらいステップアップ助成金」、「NPO法人認証等事務」など新たな取り組みが軌道に乗るよう丁寧に進行管理していく。